

iKODEプログラム・オタワ大学研修

出張日: 2016年3月7日(月)~11日(金)(5日間)

参加者: iKODEプログラム受講生(4名)、オタワ大学ポスドク1名

Lina Wati Binti Durani(分子神経科学研究センター所属)

Duong Thanh Tu(病理学講座(分子診断病理学部門所属))

加藤 智子(分子神経科学研究センター・特任助教)

山田 篤史(BMIC革新的医療システム開発部門・特任助教)

吉田 昌義(オタワ大学ポスドクフェロー、MD)

同伴教員(3名)

松浦 昌宏(BMIC・特任教授)

谷藤 真琴(BMIC・特任助教)

古川 由己(名古屋市立大学医学部/iKODE・WSファシリテーター)

出張先: オタワ大学工学部、心臓研究センター、医学部研究室

出張目的:

1. iKODEプログラムの2年目として、受講生を海外研修に派遣し、グローバルかつ先端的なアントレプレナーシップ教育を体験する。
2. オタワ大学医学部研究室や心臓研究センターを訪問し、先端的な医療現場の視察と医療機器開発の現状を知る。

アントレプレナーシップ研修 ①

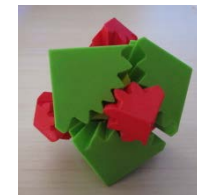
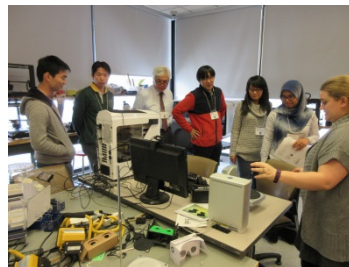
2016年3月7日(月)～10日(木)(場所:オタワ大学工学部内 会議室)

講師: Dr. Hanan Anis (Faculty of Engineering Entrepreneurship)
工学部学生数名(本研修のためのアルバイト)

内容:

① 3Dプリンターワークショップ

簡便な3Dプリンター用ソフトウェアを使って、自分たちが考えるモノを作ってみる実習。MakerSpaceと称する部屋には十数台の3Dプリンターが常設されている。



② レーザーカッター使用研修

コンピューター制御により、強度や深度を変えることにより、様々な濃淡を含めた加工が可能。3Dプリンターとの組合せで、種々の試作品作成が可能となる。



③ アントレプレナーシップ・ワークショップ

シーズやニーズが明確なテーマからのビジネス立案のためのアプローチ方法、特定のシーズやニーズが不明確だが、社会的な重要度・市場が大きいと考えられる領域でのアプローチ方法の教授。



アントレプレナーシップ研修 ②

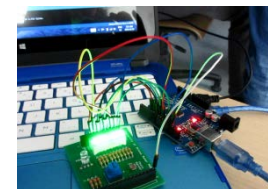
2016年3月7日(月)～10日(木)(場所:オタワ大学工学部内 会議室)

講師: Dr. Hanan Anis (Faculty of Engineering Entrepreneurship)
工学部学生数名(本研修のためのアルバイト)

内容:

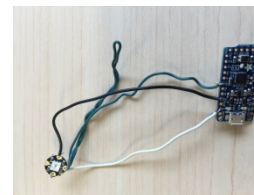
① Arduino基本操作ワークショップ

マイクロコントローラー(ミニ・コンピュータ)を用いた回路の構築などをワークショップとして学ぶ。初歩として、ライトをon-offする回路を構築した。



② Arduinoプログラミング

更に高度なプログラミング方法を学ぶ。MIT(マサチューセッツ工科大学)が開放しているプログラム作製ソフトを用いた方法を学ぶ。



③ Shopify社訪問 (Ms. Emilie Salinas)

カナダ・オタワで最も成功していると言われているソフトウェア(IT)ベンチャー企業を訪問。カナダの"Google"と言われており、職場環境も含めて、非常に快適な場を提供していた。



オタワ大学心臓研究センターおよび医学部研究室訪問

2016年3月11日(金)(場所:オタワ大学医学部研究室、心臓研究センター)

出席者: Prof. William Staines (Faculty of Medicine, Cellular & Molecular Medicine)

Dr. Tofy Mussivand (Medical Device Commercialization Centre: MDCC)

Mr. Joe Irvine (Director, Technology Transfer and Business Enterprise)

場 所: ① 心臓研究センター(40 Ruskin Street, Ottawa)

② オタワ大学医学部研究室(451 Smyth Rd., Ottawa)

内 容:

① 心臓研究センター訪問

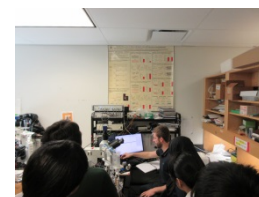
先端的人工心臓を開発した実績をもとに、世界のトップクラスの研究者在中し、開発をサポートするMDCC(政府機関)が置かれている。その中心的な存在である

Dr. Tofy Mussivandの案内でセンター内(カテーテル治療施設を含む)を訪問した。



② オタワ大学医学部研究室訪問

Prof. Stainesの案内で、CMMの研究室他を訪問。解剖学や生理学の研究室で先端的な装置や研究内容を紹介された。



iKODEプログラム・オタワ大学研修 ～まとめと所感～

➤ 昨年6月より検討してきたオタワ大学での研修を実現できた。

途中、窓口となってくれていた医学部Anthony Kratis教授の退職や技術移転部門(部門長: Joe Irvine)の縮小などがあり頓挫しかけたが、工学部でアントレプレナーシップ教育を実施しているDr. Hanan Anisに引継がれて実現した。

➤ 今回の研修は受講生4名の内、2名は留学生であった。

本学でのiKODEプログラムは基本的に日本語での講義やワークショップで、留学生も受講生として登録しているが、日本でのプログラムに参加しづらい状況である。このような海外研修に加えて、日本でのプログラムも英語での実施を検討したい。

➤ 参加した受講生等の本研修に対する感想は全員が良かった。

今回の研修は、iKODEプログラムの一カリキュラムとして、試行的な意味合もあったが、参加した受講生や教員の評価は総じて良好であった。できれば、来年度以降も継続したいと考える。

iKODEプログラム・オタワ大学研修 ～人的交流～



Dr. Anisやアルバイト学生達との
グループディナー(3月7日)



国際婦人デーでの交流(3月8日)



工学部長とのランチ(3月10日)



Dr. Anisと受講生との夕食(3月10日)